



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

11

No.627

古丹別保育所設立50周年記念式典



まちひとと百景

私たちも保育所の50歳をお祝いします

古丹別保育所設立50周年記念式典と祝賀会が10月5日(土)に公民館で開催された。

その席で現在通園している青組の園児10名が「これからはお友達と仲よく遊び、強くたくましい子どもになります」とこれからの決意をお祝いの言葉とともに述べた。

一時は90名定員で運営していた同保育所も少子化により、45名定員となっている。

しかし、定員は減っていても保育業務に関わる職員の皆さんは、預かる子ども達が心身共に健康で逞しく育ててほしいという願いは、むしろ増える一方ではと感じた。

- 北海道地区神道行法錬成研修会開催ほか … 2
- 第36回苫前町民マラソン大会ほか … 3
- 古丹別保育所設立50周年記念式典ほか … 4
- 町内小中学校学芸会・文化祭 … 5
- 健康ばんざい … 6
- 学びの広場 … 7
- 国民健康保険ガイド … 8
- 国民年金・川柳 … 9
- 住まいる情報 … 10～11
- 議会だよりNo. 93 … 12～21
- 中学生ギャラリー … 22

苫前町
議会だより
合併号

まちの人口

人口/3,491人(男/1,649人:女/1,842人)
世帯数/1,647世帯 (10月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

北海道地区神道行法錬成研修会を本町で開催！～寒風の中みそぎ行事が行われる～

9月24日(火)に北海道神社庁主催の北海道地区神道行法錬成研修会が苫前神社(瀧川慎吾禰宜)で、道内の神職や一般参加者など併せて約20名が参加し開催された。

同研修会の開催は、戦後において留萌管内で行われるのは初めてのこと。

前段に北海道神宮の権禰宜の今井建さんより「みそぎ」についての学習が行われた後、男性はふんどしにはちまき、女性は白装束にはちまき姿となり、夕陽ヶ丘ホワイトビーチへ移動した。

この日は気温も低めで寒風が吹き、波も高い中、みそぎ行事が決行されたが、参加者らはそれらに怯むことなく、自らの魂を清めるため、海中に足を進めていた。



ハマボウフウ復活作戦2013実施！～町ハマボウフウ研究会による種の採取・植え付け～



9月27日(金)に町ハマボウフウ研究会(鎌田孝会長)によるハマボウフウ復活作戦と名付けた種の採取と植え付け作業が行われ、苫前小学校(高谷典義校長)・古丹別小学校(長谷川敏之校長)の1、2年児童ら併せて約70名が参加し、海浜植物復元区域で行われた。

これまでも種の植え付けは行われてきたが、採取した種が4年前のものだったため、発芽率が低下してきていたことから、現地で種を採取、その種を植えることとしたもの。

鎌田会長は「少し寒いですが、植えた種が育つよう祈りながら植えましょう」と挨拶、参加者たちは、ビニール袋に花の枯れたものを採取、その中から種だけをとり出し、同区域に丁寧に植え付けを行っていた。

津波を想定した防災訓練を港・三豊・栄浜地区を対象に実施

9月28日(土)に港・三豊・栄浜地区の住民を対象とした防災訓練が実施された。これまで防災訓練は、平成21年9月に古丹別地区を対象に実施して2回目の実施となる。

今回は、日本海沖での地震の発生により「大津波警報」が発令され、港・三豊・栄浜地区の住民への避難広報や誘導を行い、115世帯、218名が参加した。

午前9時30分に防災無線から地震発生時のサイレン、その直後に避難を誘導する放送が流れ、その後広報車による避難広報が行われると、各地区より徒歩で避難場所へ避難を開始、参加した住民も初めての試みであったため、避難経路などの確認にもつながったよう

だ。また、今回の訓練の避難



所とした夕陽ヶ丘オーソキヤンプ場、B&G海洋センター、はまなす公園、福祉センターの4ヶ所では、職員による避難者の氏名や人数を確認、本部への連絡なども行われ、本番さながらで行われた。

避難訓練終了後には、参加者が避難所とした苫前中学校へ移動、森町長が「今回の避難訓練へのご協力に感謝申し上げます。日頃から災害に対する備えを各家庭で準備しておくとともに町としても被害を少なくするため万全の体制がとれるよう準備しておきたい」と挨拶した。

日本赤十字社苫前奉仕団による炊き出し訓練としてカレーライスが提供され、参加者が味わい、訓練を振り返っていた。

チャリティフェスティバルinとままえ開催！～大新東株式会社苫前営業所主催～



9月29日(日)にとままえ温泉ふわつと駐車場特設会場でチャリティフェスティバルinとままえが、約300名の来場で開催された。今年で3回目となるイベントでは歌手の五十嵐浩晃さんによるスペシャルライブやよさこいソーランなどの催しや北るもい漁協苫前支所、JA苫前町ほか団体による出店などもイベントに華を添えた。

来場者も夏の最後ともいえる時期のイベントを楽しんでいたようだ。

また、10月9日(水)にとままえ温泉ふわつとの西岡達之支配人、大新東株式会社苫前営業所の小関敏文所長が森町長を訪問し、フリーマーケットなどの収益を町に寄付した。

記録更新にチャレンジ！ 苫前市街地を駆け抜ける ～第36回苫前町民マラソン大会～



9月29日(日)に苫前小学校周辺で第36回苫前町民マラソン大会が親子の部から一般の部までの12部門で、あわせて99名が参加し開催された。

町体育協会主催で行われるのは昨年に引き続き2回目、今回は大会としては初めて苫前小学校周辺に折り返しコースを設定し、競技が行われた。

平田日出男会長は「スポーツイベントの少ない苫前地区で大会を実施することで、スポーツの気運を高め、習慣化につながることを期待したい」と挨拶、苫前小学校1年の石井湊さんと山口太雅くんが元気いっぱい選手宣誓を行い大会がスタートした。曇り空で少し肌寒く感じ

たがランナーにとつてはちようどよい天候の中、選手全員が無事完走した。選

種目	部門	氏名	タイム	種目	部門	氏名	タイム
1 km	親子の部	坂本あいか 坂本 正樹	5' 21"	3 km	小学5・6年男子の部	坂川 晃寛	13' 22"
	小学1・2年男子の部	岩井 啓悟	4' 30"		中学生女子の部	瀬川 桃愛	13' 08"
	小学1・2年女子の部	安田 衣咲	4' 50"		一般男子の部	安田 友男	12' 57"
2 km	小学3・4年男子の部	池田 光来	8' 13"	5 km	中学生男子の部	平井 廉	21' 35"
	小学3・4年女子の部	篠原 由奈	8' 37"		一般男子の部	田中 稔久	17' 10"
	小学5・6年女子の部	池田 朱桜	8' 05"		一般女子の部	佐久間裕子	26' 49"

(各部門の第1位のみ記載) 太枠内は大会新記録

本町教育委員会初の女性委員就任 ～旭に居住の大矢根まきさん～



大矢根さんの任期は平成25年10月1日から平成29年

平成25年9月30日で任期満了を迎える苫前町教育委員会委員への辞令交付が10月1日(火)役場町長室で行われ、本町初となる女性の教育委員が誕生した。
教育委員となった大矢根まきさんは旭で酪農業を営む、小学校3年生と6年生のお子様を持つお母さん。
山田裕一副町長から辞令を受け取った後「子を持つ保護者の代表としての就任ということ、学校教育の中で保護者が抱いている不安や心配ごとなどを、教育委員会と情報を共有しながら、努力していきたい」と大矢根さんは緊張ぎみに抱負を語った。



9月30日までの4年間となる。

同委員会の岡田裕幹委員長も初の女性委員の就任に「女性としての感性や視点が必要となるところも数多くあるので、これからの活躍を期待している」と述べた。

また、同日に全委員が見守る中、平成25年9月30日をもって委員を退任される伊藤信行さん(岩見在住)には、感謝状と報償規程に基づく記念品が贈呈され、その功績を称えた。
伊藤さんは、平成13年10月1日付けで教育委員に就任し、3期12年に亘りその職を務められた。

「かぼちゃのマドレーヌ」と「えびクッキー」等を販売 ～苫前商業高等学校のスマイル・ウインド事業～



10月2日(水)に苫前商業高等学校(小笠原茂美校長)で本年度のまちおこし事業「スマイル・ウインド」の概要発表が行われた。
同事業は札幌市内で本町の特産物のPRと販売を行うとともに、同校生徒が開発した商品を販売することを目的に昨年より実施されている。
本年は同校3年生が地元で採れる農水産物を使った商品開発として、栗味かぼちゃと米粉を使ったマドレーヌ風の「カボレーヌ」とクッキーの上にプレスした甘エビを1匹まんまのせた「えびクッキー」も本町の特産品とあわせて販売する予定。
鴨田将來くんら3名は「商品ゼロから考えることや試作品の失敗など苦労が多かったが、苫前町の味を札幌の人にも味わってほしい。多くの人にアピールし完売を目指したい」と述べた。

古丹別保育所が設立50周年を迎え、記念式典を開催



10月5日(土)に公民館で古丹別保育所設立50周年記念式典と祝賀会が、約100名の出席で挙行された。同保育所は昭和30年頃に有志により旧公民館で自主的な保育を実施、その後、現在地に園舎が建てられ「小鳩保育園」として運営していたが、昭和38年に定員60名の常設保育所として開所、昭和46年に新築、一時は定員90名で運営していたこともあったが、少子化などにより園児数は減少、現在45名定員で運営、この50年間で1200名を超える園児を送り出している。式典では社会福祉法人古丹別福祉会の松岡満雄理事長の式辞のほか、これまでの功績のあった役員・職員への表彰が行われ、森町長のほか同保育所青組園児10名が「これからお友達と仲よく遊び、強くたくましい子どもになります」とお祝いの言葉を述べた。

寸劇で認知症について理解を深める ～苫前中学校3年生を対象に認知症サポーター養成講座～

新田千佳子主任保健師より認知症とはどのような症状なのかを説明した後、町職員、社会福祉協議会職員が、ご飯を食べたのにまだ「ご飯をほしがる」「ごはんはまだかい」と自宅にいるにもかかわらず自宅に帰ると騒ぐ「おうちに帰ります」の2本の寸劇を披露、それらを観る生徒らも講座とは違った説明方法により、理解を深めていたようである。

10月10日(木)に苫前中学校(富田正夫校長)で認知症サポーター養成講座が同中学校3年生18名を対象に実施された。同講座はこれまで町内の成人を対象に実施され、6月末までに175名のサポーターが養成されているが、中学生を対象に実施されるのは、留萌管内でも初めてのこと。



地域社会貢献事業

～まちの施設を整備していただきました～

秋の交通安全運動(セーフティコール)への協力

～三協建設株式会社～

苫前小平線外交安工事(視線誘導標)を実施している三協建設株式会社(堀松秀樹代表取締役社長)が9月30日(月)に秋の交通安全運動の一環として行われているセーフティコールへの協力を地域社会貢献事業として実施した。

これから秋に向けて日没が早まるため、交通事故の防止には速度超過やシートベルトの着用などについて意識向上を図る必要がありましたが、御社のご協力のお陰で効果的な街頭啓発活動が実施できました。ありがとうございました。



上平共同利用模範牧場周辺取付道路の整地作業

～堀建巧業株式会社～

草地整備苫前地区2工区事業を実施している堀建巧業株式会社(益田猛代表取締役)が10月17日(木)に上平共同利用模範牧場北側牛舎及び取付道路の整地作業を地域社会貢献事業として実施した。

牧場周辺の取付道路は、長年の使用による土地の陥没などで表面に凹凸が発生し作業の際に支障が出ていましたが、御社による整地作業により、道路もすっかり平らになり作業にも安心して従事することができるようになりました。

ありがとうございました。

古丹別小学校の窓ガラス清掃の実施

～山本建設工業株式会社～

一般国道239号苫前霧立法面災害防除外一連工事を実施している山本建設工業株式会社(山本啓一代代表取締役)が、10月26日(土)に古丹別小学校(長谷川敏之校長)校舎の窓ガラス清掃を地域社会貢献事業として実施した。

ここ数日の悪天候で強風とともに吹き付ける砂ほこりなどにより校舎の窓ガラスが汚れ、11月上旬に予定されている古丹別小学校フェスティバルで一般住民の方を迎えるにあたり大変苦慮していましたが、御社によるご協力で汚れも落ち、安心して行事を迎えられそうです。

ありがとうございました。



10月5日(土) 古中祭

Show time ~全力で盛り上げろ!!~



10月6日(日) 古丹別中学校文化祭

巻き起こせ! 47人の古中旋風! ~「絆」・「心」・「輝」~



10月12日(土) 古前小学校学芸会

ALL AS ONE 130周年を記念して 心を一つに元気と笑顔を輝かそう



10月13日(日) 古丹別小学校学芸会

みんなきらめけ! 笑顔あふれる古丹別の星になれ!



おっかなびっくりに乳搾り体験で酪農についての学習を深める ~学社融合事業「酪農体験」~



自分たちより大きい牛に最初はおっかなびっくりにだった事業も上手に乳搾りができると嬉しそうな表情を浮かべていた。

子牛への授乳体験も行われ、あまりの力強さに哺乳瓶を落としてしまう児童もいた。

質問応答では「サイロって何?」「牛の名前はどうかけるの?」という質問に、丹羽さんは丁寧に答えていた。

10月18日(金)に古丹別小学校(長谷川敏之校長)の3年生19名を対象とした学社融合事業「酪農体験」が、岩見で酪農を営む丹羽秀樹さん宅で行われた。

最初に丹羽さんから「牛はとても臆病なので大声を出したり走ったりしないこと」と注意事項を聞いた後、児童一人ひとりが乳搾り体験を行った。